

「河川地形とさまざまな気象災害Ⅰ（扇状地）」

名前

コンテンツ URL : <https://storymaps.arcgis.com/stories/46896f3fb04e46dfbdb39ccbe4f29fc1>

問1 衛星画像と地形図を見て、扇状地がつくられる場所と扇状地の特色を考えてみよう。

場所	
地形の特色	

問2 滋賀県の琵琶湖の西側にある百瀬川扇状地について、下の問いに答えよう。

- ① 深清水の集落と国道（図中の赤い道）の間に見られる、扇状地に多い土地利用は何だろうか。
- ② Aの場所のように、周りの地面よりも高い場所にある河川を何というだろうか。
- ③ この扇状地の中には水田も見られるが、どのような場所に分布しているか、地形図と土地条件図を見て考えてみよう。

- ④ 扇状地では、湧水のある扇端付近に集落が発達することが知られている。この扇状地で湧水に関するのあると考えられる地名の集落を二つ選ぼう。また、土地条件図との関係も確認してみよう。

集落	と	
----	---	--

- ⑤ 近年、さまざまな工夫をすることで、扇状地内で洪水はほとんど見られなくなった。1935（昭和10）年の地形図と見比べながら、その工夫として適切ではないものを一つ選ぼう。
  - ア 百瀬川に土砂の勢いを抑える堰<sup>せき</sup>をつくった。
  - イ 百瀬川の北側に遊水地をつくって、扇状地側に水があふれないようにした。
  - ウ 大雨時には扇頂にある取水口から、大沼や深清水の集落に水を流すようにした。
  - エ 大雨時には北側にある生来川に水を流して、百瀬川の流量を減らすしくみをつくった。

問3 山梨県の金川では、Bのように堤防が連続的につながっていない場所が1929（昭和4）年の地形図に見られるが、このようにするメリットを考えてみよう。また、現在の地図にもその名残りがあ